

農林水産省生産局長賞受賞

愛知県西尾市

内藤 敦 内藤こず恵



内藤夫妻は、西尾市で露地ナシ220aのナシ専作経営を行っている。西尾市におけるナシの平均経営面積は約27aであり、その8倍強にあたる地域最大の大規模経営を営んでいる。

労働力は、敦氏、こず恵氏、父の昇氏、母の美千代氏の4人で賄われている。雇用は繁忙期に直売所での活用と、摘果の時期に「梨お父さん会」による援農で一時的に利用するのみで、大規模の面積を家族労力中心で営んでいる。主要な栽培品種は「幸水」「豊水」「あきづき」「新高」の4種で、その他に「甘ひびき」「甘太」「凜夏」など試作品種と、加工品を合わせて7月下旬から11月までの長期販売を実現している。

経営上の特徴は、農地集積、農業機械の積極的活用により効率化を図ることと、時間労働生産性を高めている。直売主体経営により収益率は高く、近年は高い農業所得を確保していることである。

技術面では、畝間を7mと広くとり、収穫や防除、施肥などの主要作業を大型の農業機械を利用し、効率化と省力化を図っている。また、環境に配慮し農薬利用をできるだけ少なくするため、交信かく乱剤や防蛾灯、機械除草を積極的に導入し、IPM（総合的病害虫・雑草管理）の理念に基づく農業を実践している。

地元農協の部会、JA西三河なし部会に所属し吉良地域の支部長として部会活動にも精力的に参加するほか、食育活動にも夫妻で積極的に取組み、地域の見本となっている。